



エコアクション21  
環境経営レポート  
(対象期間：2024年 1月～2025年 4月)

立尾電設株式会社  
2025 年 9 月 8 日発行



## CONTENTS

01	組織の概要	..... 1
02	対象範囲	..... 2
03	実施体制	..... 3.4
04	環境経営方針	..... 5
05	環境経営目標	..... 6
06	環境経営計画	..... 7
07	環境経営目標の実績	..... 8～15
08	環境経営計画の取組結果とその評価	..... 16.17
09	次年度環境経営目標	..... 18
10	次年度環境経営計画	..... 19
11	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	..... 20
12	代表者による全体評価・見直し・指示	..... 21～23
13	環境活動の取組内容	..... 24～28

## 01. 組織の概要



会社名 立尾電設株式会社

設立日 1970年 3月26日

代表者 代表取締役 永田 士朗

資本金 2,000 万円

連絡先 TEL：0966 - 63 - 4336 / FAX：0966 - 62 - 2334

事業内容  
電気工事業、電気通信工事業  
管工事業、水道施設工事業  
消防施設工事業  
消防設備の保守管理  
消防機械器具販売

許可番号 建設業許可 国土交通大臣許可(般-4)第22486号

事業規模

	所在地	従業員数
本社	熊本県水俣市初野 75 - 1	30
出水支店	鹿児島県出水市米ノ津町 43 - 5	11
薩摩川内 営業所	鹿児島県薩摩川内市 高城町 1672 - 102	4

## 02. 対象範囲

### 認証・登録範囲

立尾電設株式会社 全社  
(全組織・全活動・全従業員)

### 対象事業所

本社

熊本県水俣市初野75-1

出水支店

鹿児島県出水市米ノ津町43-5

薩摩川内営業所

鹿児島県薩摩川内市高城町1672-102

資材置場

熊本県水俣市古城527

資材置場・加工場

熊本県水俣市古城539-6

### 事業活動

電気工事業、管工事業、電気通信工事業、  
水道施設工事業、消防施設工事業、消防の  
保守管理、消防機械器具販売

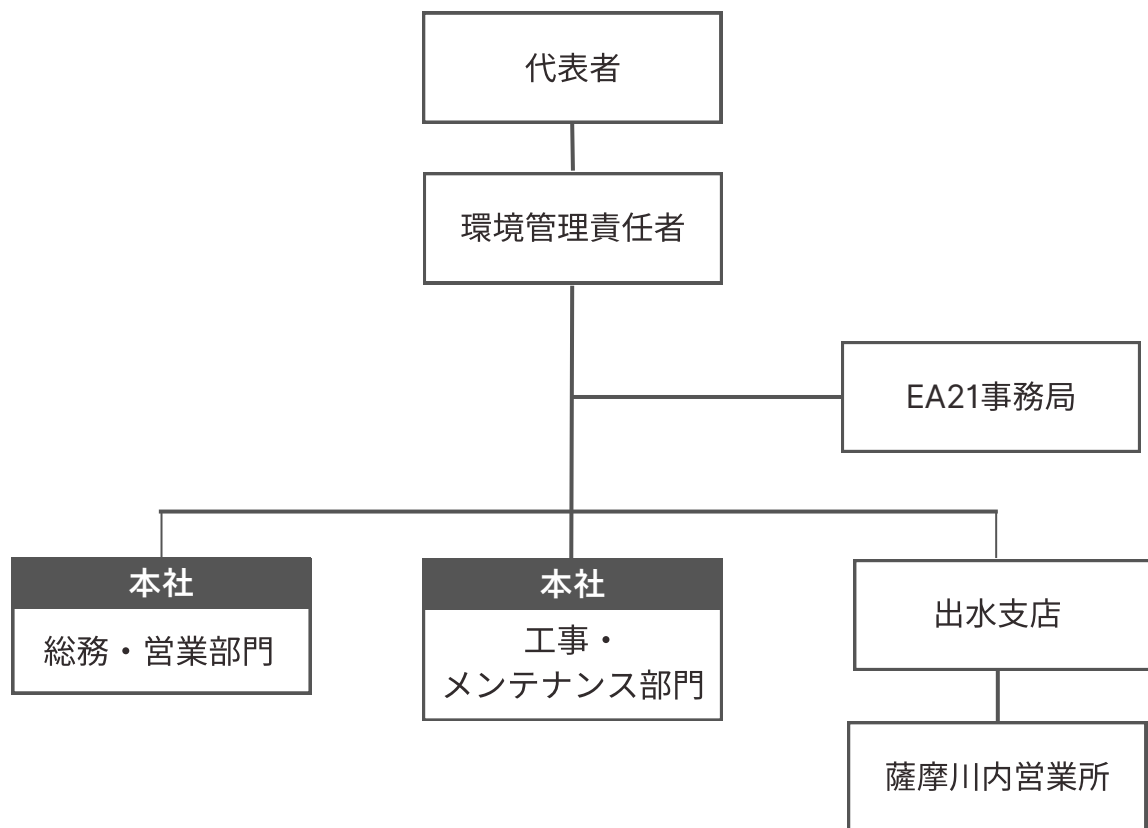
### 対象期間

2024 年 1 月 ～ 2025 年 4 月  
試行期間(2023年10月～12月)以降

### 発行日

2025 年 9 月 8 日

### 03. 実施体制



代表者

- ・ 環境経営全般に関する統括責任
- ・ 環境経営の実施及び管理に必要な経営資源の準備
- ・ 経営における課題とチャンスを確認にする
- ・ 環境管理責任者の任命
- ・ 環境経営方針の作成、見直し
- ・ 環境経営目標、環境経営計画の承認
- ・ 環境経営レポートの承認

環境管理責任者

- ・ 環境経営システムの構築、実施、管理の継続的改善
- ・ 環境経営システムの運用、活動状況を代表者へ報告
- ・ 環境経営目標、環境経営計画の確認
- ・ 環境経営レポートの確認

EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類及び基礎データの作成、集計、管理</li> <li>・社外からの環境情報の収集、伝達</li> <li>・環境経営レポートの作成</li> </ul>
部門長・支店長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する</li> <li>・環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する</li> <li>・各部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> <li>・各部門に関連する法規制等を遵守する</li> <li>・各部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する</li> <li>・教育・訓練を実施する</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する</li> </ul>

## 04. 環境経営方針

### 基本理念

立尾電設株式会社は、電気工事、管工事、消防施設工事、電気通信工事等の事業を通じて、安全で快適な社会づくりを目指し、地球環境を保全するために環境負荷の削減を全社一丸となって取り組んでいきます。

### 行動指針

1. 次の項目を重点的に取り組みます。
  - ① 使用エネルギーを低減させ、二酸化炭素排出量を削減します。
  - ② 廃棄物の分別を実施し、再利用、再資源化を推進します。
  - ③ 水資源を大切にし、節水に努めます。
  - ④ 化学物質を適正に管理します。
  - ⑤ 全社員への環境教育を行い、環境保全意識の向上を図ります。
  - ⑥ 環境関連の社会活動へ積極的に参加し、社会へ貢献します。
  - ⑦ 環境に配慮した工事・メンテナンスを行います。
2. 環境経営システムを構築、運用して継続的に改善を図ります。
3. 当社に適用される環境関連法規を遵守します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。
5. 環境経営方針を全社員に周知し、環境負荷削減の意識向上に努めます。

制定日 令和5年8月1日

立尾電設 株式会社  
代表取締役 永田 士朗

## 05.環境経営目標

項目	単位	基準年	目標				
		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	106,243	105,924	105,605	105,287	104,968	
社員数比	kg-CO <sub>2</sub> /人	2,796	2,779	2,779	2,771	2,762	
売上高比	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	295.1	293.3	293.3	292.5	291.6	
①電気電気使用量	kwh	35,642	35,535	35,428	35,321	35,214	
本社	kwh	21,256	21,192	21,128	21,065	21,001	
支店	kwh	11,294	11,260	11,226	11,192	11,158	
倉庫他	kwh	3,092	3,083	3,073	3,064	3,055	
②ガソリン使用量	L	36,942	36,831	36,720	36,609	36,499	
本社	L	25,604	25,527	25,451	25,374	25,297	
支店	L	11,338	11,304	11,270	11,236	11,202	
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	1,890	1,884	1,879	1,873	1,867	
産業廃棄物	t	25.984	25.906	25.828	25.750	25.672	
水使用量	m <sup>3</sup>	193	192	192	191	191	
環境貢献・清掃活動	回	1	1	1	1	1	

### 備考

- ・二酸化炭素排出係数は0.389kg-co<sub>2</sub>/kwh（九州電力2022年度）を使用
- ・灯油、ガスは全体の0.1%未満であったため対象外とする
- ・各年度の対象期間は決算年度5月～翌年4月とする



## 06.環境経営計画

### 二酸化炭素排出量の削減

#### 電気使用量の削減

- 電気不要時・休憩時の消灯
- OA機器、空調機の退社時の電源オフ
- ロールカーテン使用による室温上昇防止
- 空調機フィルターの定期清掃
- 節電表示と定期的な更新
- 営業、事務員のクールビズ・ウォームビズ

#### ガソリン使用量の削減

- 急発進、急加速の禁止
- 不要なアイドリングの禁止
- 車両点検の実施
- 現場への乗り合わせ移動の促進

### 廃棄物排出量の削減

#### 一般廃棄物排出量の削減

- 両面印刷、白黒印刷の促進
- コピー用紙の再利用(裏紙)
- 印刷前の画面確認の徹底、ミスプリントの削減

#### 産業廃棄物排出量の削減

- 混合廃棄物の削減
- リサイクル促進
- マニフェスト伝票の適正管理

### 水使用量の削減

- 洗い物時の節水
- 洗車時の節水
- 節水表示と定期的な更新

### 化学物質使用量の把握

- 化学物質のSDS情報の定期的確認、保管
- 化学物質を含む建設資材の使用量の把握

### 環境貢献・清掃活動の実施

- エコマーク付き事務用品購入の推進
- ボランティア活動の実施

## 07.環境経営目標の実績

項目	単位	基準年 R4年度	R5年度 (R6年1月～4月)		R6年度			
		実績	目標	実績	目標	実績	達成率 (%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	106,243	35,308	29,583	105,605	97,140	109	○
社員数比	kg-CO <sub>2</sub> /人	2,796	929	779	2,779	2,159	129	○
売上高比	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	295.1	98.1	43.0	293.3	195.8	150	○
① 電気使用量	kwh	35,642	13,184	10,558	35,428	35,217	101	○
本社	kwh	21,256	6,927	5,736	21,128	19,877	106	○
支店	kwh	11,294	4,472	4,061	11,226	12,792	88	×
倉庫他	kwh	3,092	1,785	761	3,073	2,548	121	○
② ガソリン使用量	L	36,942	11,609	9,894	36,720	32,539	113	○
本社	L	25,604	8,267	6,968	25,451	20,499	124	○
支店	L	11,338	3,342	2,926	11,270	12,040	94	△
廃棄物排出量								
一般廃棄物	kg	1,890	599	145	1,879	497	378	○
産業廃棄物	t	25.984	17.462	11.659	25.828	808.051	3	×
水使用量	m <sup>3</sup>	193	63	54	192	167	115	○
環境貢献・清掃活動	回	1	0	0	1	1	100	○

### 備考

- ・二酸化炭素排出係数は0.389kg-co<sub>2</sub>/kwh（九州電力2022年度）を使用
- ・R4年度社員数：38人、売上高：360百万円
- ・R5年度社員数：38人、売上高：690百万円
- ・R6年度社員数：45人、売上高：496百万円
- ・達成率計算式：目標値/実績値×100
- ・評価：○…100%以上、△…90%以上100%未満、×…90%未満

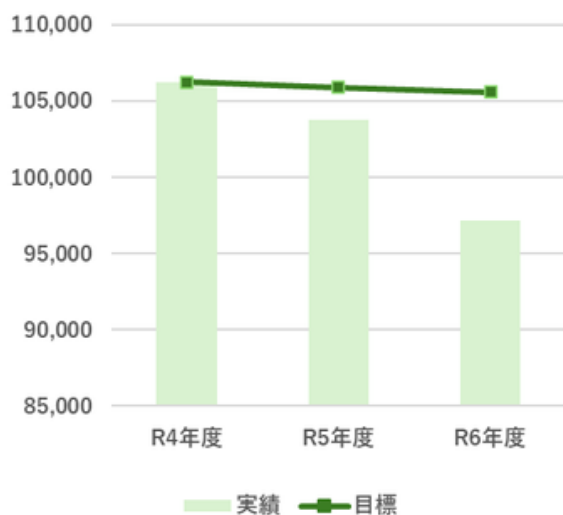
## 二酸化炭素排出量の削減

CO <sub>2</sub> 排出量	単位	目標	実績	達成状況	評価
実数値	kg-CO <sub>2</sub>	105,605	97,140	8%削減	○
社員数比	kg-CO <sub>2</sub> /人	2,779	2,159	22%削減	○
売上高比	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	293.3	195.8	33%削減	○

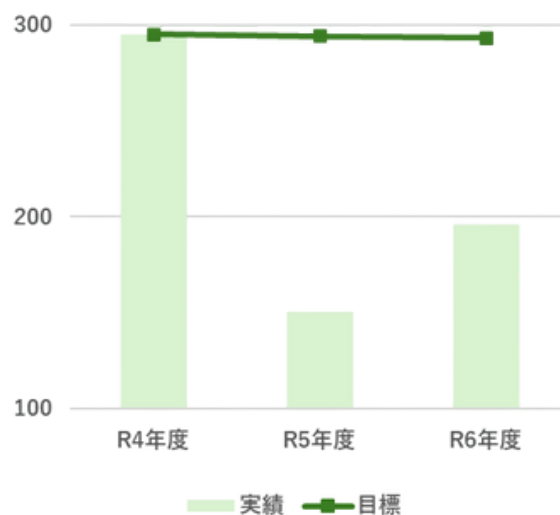
### ✓ 2年連続目標達成

実数値、社員数比、売上高比の全ての項目で、R5年度に続き今年度も目標を達成した。売上高比における排出量はわずかに増加したが、総じて高い水準での成果を維持している。

CO<sub>2</sub>排出量の推移  
【kg-CO<sub>2</sub>】



CO<sub>2</sub>排出量売上高比の推移  
【kg-CO<sub>2</sub>/百万円】



## 電気使用量の削減

		単位	目標	実績	達成状況	評価
本社		kWh	21,128	19,877	5%削減	○
支店	(目標値には 出水支店のみ含まれる)	kWh	11,226	12,792	13%増加	×
	出水	kWh	11,226	10,386	7%削減	○
	薩摩川内営業所 (R5年9月～)	kWh	－	1,357	－	－
倉庫他		kWh	3,073	2,548	17%削減	○

### ✔ 新たに開設した営業所を除いて目標達成

会社全体では目標を達成した。支店では未達成となったが、R5年9月から薩摩川内営業所の電気使用量が支店に含まれたことが要因である。来年度からは目標値に薩摩川内営業所の使用量も追加し、比較していく。

### ✔ 本社エアコン更新

本社においてエアコン2台を更新し、省エネルギー推進に取り組んだ。



### ✓ 専門業者によるエアコン清掃

社員による清掃に加え、専門業者によるエアコンの内部分解洗浄を実施した。  
これにより冷暖房効率を維持し、電力使用量の抑制を図った。  
また、定期的の実施することでエアコン本体の故障リスクを低減している。



### ✓ 出水支店、LED化

出水支店に残っていた蛍光灯を全てLEDに更新し、電気使用量の削減と環境負荷の軽減を図った。



## ガソリン使用量の削減

		単位	目標	実績	達成状況	評価
全体	実数値	L	36,720	32,539	11%削減	○
	売上高比	L/百万円	102	66	36%削減	○
本社	実数値	L	25,451	20,499	19%削減	○
	社員数比	L	943	683	28%削減	○
支店	実数値	L	11,270	12,040	7%増加	×
	社員数比	L	1025	803	22%削減	○

### 備考

- ・ 社員数：R4年度…本社27人、支店11人  
R6年度…本社30人、支店15人
- ・ 売上高：R4年度…360百万円  
R6年度…496百万円

### ✓ 本社、支店共に目標達成

支店は数値上、目標未達成となった。

ただし、本年度は本社から出水支店への人事異動により人員が増加したため、社員数比で見ると本社・支店ともに目標を達成している。

### ✓ 営業所新設による移動距離短縮

薩摩川内営業所の開設によって、移動距離が短縮され、その結果ガソリン使用量も減少したと考えられる。



## 一般廃棄物排出量の削減

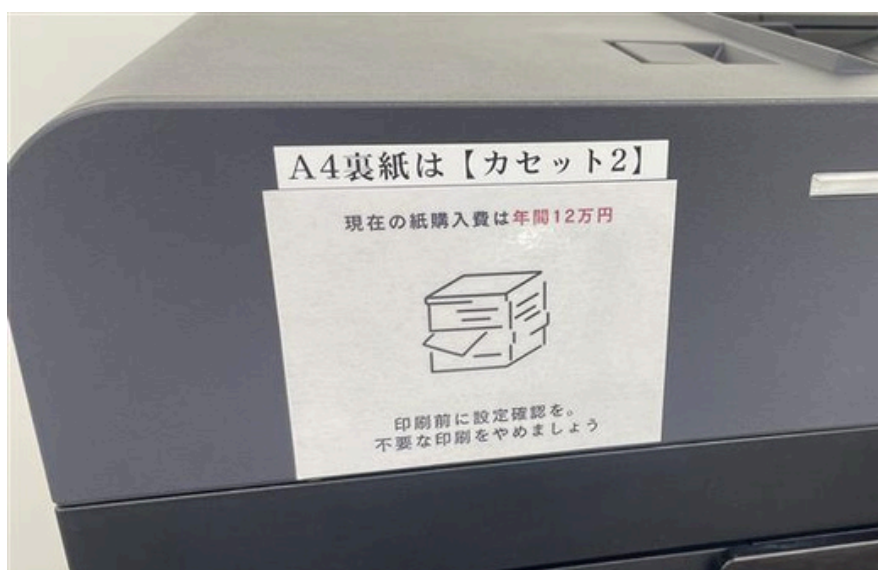
	単位	目標	実績	達成状況	評価
全体	kg	1,879	497	74%削減	○
本社	kg	1,372	166	88%削減	○
支店	kg	507	331	34%削減	○

### ✓ 大幅な削減に成功

本社・支店ともに目標を達成した。しかし、支店における排出量の多さが懸念される。そのため、支店には廃プラスチックや紙ごみの分別徹底を指示し、今後しばらく状況を注視していく。

### ✓ 紙購入額の揭示

紙使用量削減を目的に、複合機に年間の紙購入金額を掲示し、ミสปリント防止や裏紙再利用を徹底した。



## 産業廃棄物排出量の削減

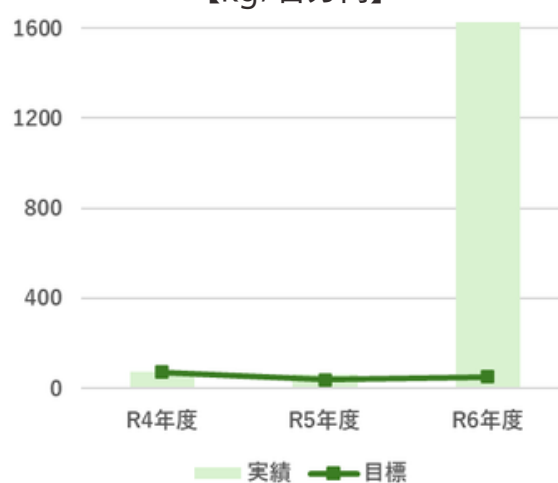
	単位	目標	実績	達成状況	評価
全体	t	25.828	808.051	3,029% 増加	×

### ✓ 産業廃棄物排出量の大幅増加

改修工事や解体工事の影響で産業廃棄物の排出量が増加した。

排出量は工事内容に依存するものの、引き続き分別の徹底を図り、削減への取り組みを継続する。

産業廃棄物排出量売上高比の推移  
【kg/百万円】





## 水使用量の削減

	単位	目標	実績	達成状況	評価
全体	m <sup>3</sup>	192	167	13%削減	○
本社	m <sup>3</sup>	87	74	15%削減	○
支店	m <sup>3</sup>	103	93	10%削減	○

### ✓ 2年連続目標達成

2年連続で目標を達成した。

本社・支店ともに過去2年間の水使用量はほぼ同程度で推移しており、さらなる削減は困難と考えられる。引き続き節水意識を高め、継続的な取り組みを進めていく。

## 環境貢献・清掃活動の実施

### ✓ 国道沿いの清掃活動を実施

本社・支店ともに、それぞれの事務所近くの国道沿いで清掃活動を実施した。実施の際には、想定以上のごみが散乱していることが確認され、改めて地域環境への意識を高める機会となった。



## 08.環境経営計画の取組結果とその評価

### 二酸化炭素排出量の削減

	活動内容	実施状況	コメント
電気使用量	電気不要時・休憩時の消灯	○	<p>最大の変化は、照明スイッチ案内図の掲示により不要時の一部消灯が定着したことである。</p> <p>さらに、全項目において取り組みが習慣化されている。</p> <p>来年度は、これらの成果を基盤として環境経営計画の更新を進めていく。</p>
	OA機器、空調機の退社時の電源オフ	○	
	ロールカーテン使用による室温上昇防止	○	
	空調機フィルターの定期清掃	○	
	節電表示と定期的な更新	○	
	営業、事務員のクールビズ・ウォームビズ	○	
ガソリン使用量	急発進、急加速の禁止	○	<p>現場事務所のない現場では、休憩を車内でとるケースが多く見られる。特に夏季や冬季は、エンジンをかけたまま休憩する状況が生じている。近年は気温上昇も顕著であり、熱中症対策の観点からも屋外での休憩は現実的に困難であるため、車内休憩はやむを得ない面がある。その一方で、不要なアイドリング削減と環境配慮の両立は難しく、今後の課題と認識している。</p> <p>また、車両利用の効率化と環境負荷の低減を目的に乗り合わせを推奨しているものの、十分に徹底されていない。車両が余っている場合には個別利用が発生しやすいため、今後は乗り合わせを一層徹底し、効率的かつ環境に配慮した車両運用を進めていく。</p>
	不要なアイドリングの禁止	△	
	車両点検の実施	○	
	現場への乗り合わせ移動の促進	△	

### 燃費向上への取組



社用車の燃費向上を目的に、毎月データを収集し平均燃費を算出した。

極端な燃費悪化は故障の前兆となる場合があり、車両の修理や更新を検討する際の重要な指標となっている。

また、急加速や急発進を避け、燃費の良い丁寧で安全な運転を心がけるよう周知した。

## 廃棄物排出量の削減

	活動内容	実施状況	コメント
一般廃棄物	両面印刷、白黒印刷の促進	○	目標を大きく上回り、昨年度比でも削減を達成した。 しかし、出水支店の排出量が本社の約2倍に上る状況が確認されており、この改善に向けて分別の徹底を指示し、取り組みを進めている。
	コピー用紙の再利用(裏紙)	○	
	印刷前の画面確認の徹底、ミスプリントの削減	○	
産業廃棄物	混合廃棄物の削減	○	今年度は大規模な改修・解体工事を受注したため、産業廃棄物の排出量が大きく増加した。 一方で、この一年で産業廃棄物の分別は現場でも定着し、当たり前取り組みとなった。
	リサイクル促進	○	
	マニフェスト伝票の適正管理	○	

## 水使用量の削減

	活動内容	実施状況	コメント
水使用量	洗い物時の節水	○	本社・支店ともに目標を達成した。 支店は毎日クリーン服の洗濯を行っているため、本社より水使用量が多い傾向にある。
	洗車時の節水	○	
	節水表示と定期的な更新	○	

## 化学物質使用量の把握

	活動内容	実施状況	コメント
化学物質	化学物質のSDS情報の定期的確認、保管	○	毎年5月から翌年4月までに購入した化学物質の把握を行っており、本年度（令和6年度）分は令和7年夏ごろに実施する予定である。
	化学物質を含む建設資材の使用量の把握	○	

## 環境貢献・清掃活動の実施

	活動内容	実施状況	コメント
	エコマーク付き事務用品購入の推進	○	国道沿いの清掃活動を実施した。今後も地域社会の一員として責任を果たし、環境への配慮を大切にしながら、継続的な貢献活動に取り組んでいきたい。
	ボランティア活動の実施	○	

## 09.次年度環境経営目標

項目	単位	基準年	目標				
		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	106,243	105,924	105,605	105,287	104,968	
社員数比	kg-CO <sub>2</sub> /人	2,796	2,779	2,779	2,771	2,762	
売上高比	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	295.1	293.3	293.3	292.5	291.6	
①電気電気使用量	kwh	35,642	35,535	35,428	37,912	37,797	
本社	kwh	21,256	21,192	21,128	21,065	21,001	
支店	kwh	11,294	11,260	11,226	13,783	13,741	
倉庫他	kwh	3,092	3,083	3,073	3,064	3,055	
②ガソリン使用量	L	36,942	36,831	36,720	36,609	36,499	
本社	L	25,604	25,527	25,451	25,374	25,297	
支店	L	11,338	11,304	11,270	11,236	11,202	
廃棄物排出量							
一般廃棄物	kg	1,890	1,884	1,879	1,873	1,867	
産業廃棄物	t	25.984	25.906	25.828	25.750	25.672	
水使用量	m <sup>3</sup>	193	192	192	191	191	
環境貢献・清掃活動	回	1	1	1	1	1	

### 備考

- ・二酸化炭素排出係数は0.389kg-co<sub>2</sub>/kwh（九州電力2022年度）を使用
- ・灯油、ガスは全体の0.1%未満であったため対象外とする
- ・各年度の対象期間は決算年度5月～翌年4月とする
- ・電気使用量：R7年度以降の目標値にR6年度の薩摩川内営業所の実績値を合算する

## 10.次年度環境経営計画

### 二酸化炭素排出量の削減

#### 電気使用量の削減

- 電気不要時・休憩時の消灯
- OA機器、空調機の退社時の電源オフ
- ロールカーテン使用による室温上昇防止
- 空調機フィルターの定期清掃
- 営業、事務員のクールビズ・ウォームビズ

#### ガソリン使用量の削減

- 急発進、急加速の禁止
- 車両点検の実施
- 現場への乗り合わせ移動の促進
- ☆ 営業所内での休憩の徹底
- ☆ 定期的なオイル交換の実施
- ☆ 過積載を行わない

### 廃棄物排出量の削減

#### 一般廃棄物排出量の削減

- 両面印刷、白黒印刷の促進
- コピー用紙の再利用(裏紙)
- 印刷前の画面確認の徹底、ミスプリントの削減
- ☆ 分別の徹底

#### 産業廃棄物排出量の削減

- 混合廃棄物の削減
- リサイクル促進
- マニフェスト伝票の適正管理

### 水使用量の削減

- 洗車時の節水
- 節水表示と定期的な更新
- ☆ 吐水量を調整し節水する

### 化学物質使用量の把握

- 化学物質のSDS情報の定期的確認、保管
- 化学物質を含む建設資材の使用量の把握

### 環境貢献・清掃活動の実施

- エコマーク付き事務用品購入の推進
- ボランティア活動の実施
- ☆ エコ商品への代替調査

### 環境に配慮した工事・メンテナンス

- ☆ 建設現場事務所周辺の清掃を週1回実施
- ☆ 点検の際、防火設備(シャッター、防火扉)の清掃を実施
- ☆ 低騒音・低振動型重機を使用

備考

☆印は次年度追加活動

## 11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

法令	内容	確認方法	遵守状況
廃棄物処理法	保管基準の遵守	産廃保管場所	○
	産業廃棄物の委託	許可証及び契約書	○
	管理票(マニフェスト)の交付	マニフェスト	○
	管理票(マニフェスト)の写しの保存期間	マニフェスト	○
	マニフェスト交付状況報告書の作成及び知事への報告	定期報告書	○
	消火器の処分	契約書	○
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出	届出書	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務	登録識別情報等通知書、登録事項等証明書(軽自動車の場合は自動車検査証返納証明書、検査記録事項等証明書)	○
建設リサイクル法	対象工事着手7日前までに県への届出 実績記録の作成報告	届出書、報告書	○
消防法	消防用設備等設置届出書の消防署への提出	届出書	○
浄化槽法	保守点検、清掃	保守点検報告書、清掃作業報告書	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検	点検票	○
	フロン類が充填されている業務用エアコンの引渡義務	引取証明書、委託確認書	○

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は確認されなかった。  
併せて、関係機関からの指摘や利害関係者による訴訟も発生していない。

令和7年5月22日



## 12.代表者による全体評価・見直し・指示

### 環境管理責任者の報告及び改善への提案

項目	コメント
環境関連法規等の遵守状況	違反・訴訟は無し
問題点の是正処置	産廃置場の集約を進めている
支店の電気使用量、ガソリン使用量が毎月増加した理由	電気：支店の目標値は出水支店のみを対象としているが、結果には令和5年9月に新設した薩摩川内営業所の電気使用量も加算したため ガソリン：本社からの人事異動により支店の人員が増加したため
産業廃棄物排出量が大幅に増加した理由	大規模な改修工事と鉄筋コンクリート造りの建物の解体工事が重なったため
来年度の削減強化項目	ガソリン：薩摩川内営業所内で休憩、乗り合わせ徹底、過積載禁止 一般廃棄物：分別の徹底

### 環境経営目標・環境経営計画の達成状況と次年度変更の有無

項目	環境経営目標		環境経営計画		コメント
	達成状況	次年度変更	達成状況	次年度変更	
二酸化炭素排出量 電気、ガソリン使用量)	○	有	△	有	電気：薩摩川内営業所のデータ取得を開始して1年が経過した。次年度からは、薩摩川内営業所の電気使用量についてもモニタリングを実施する ガソリン：営業所での休憩、乗合せ、過積載の禁止の徹底
廃棄物排出量	×	無	○	有	一般廃棄物：支店の分別徹底 産業廃棄物：工事に左右されるが、今後も適切な処分を継続する
水使用量	○	無	○	有	節水の声掛けを定期的に行っていく
化学物質使用量	○	無	○	無	使用量の把握は今後も継続していく
環境貢献、清掃活動	○	無	○	有	社員一丸となり貢献活動に取り組めた。今後も積極的に取り組んでいく

## 代表者による評価及び指示事項

項目	変更の有無	コメント
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	引き続き継続する
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気使用量に関しては、新設の薩摩川内営業所分を支店目標に加える
環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	現状の環境経営計画では削減が頭打ちとなる可能性のある項目については新たに追加する また、環境に配慮した工事・メンテナンスを推進するため、新たな項目を加えて環境経営計画を設定した。
実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	現在の体制で継続する
環境経営システム	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	エコアクション21はシステムとして有効に機能している



## 総評

エコアクション21に取り組み始めて1年が経過し、年間データを取得できたことで削減状況を数値として比較・可視化できるようになりました。認証取得に向けて社内体制を整え始めてからは2年が経過し、社員一丸となって当初のモチベーションを維持しながら活動に取り組んでおります。新しいルールや取り組みが増えましたが、日々の業務の中でも次第に定着し、当たり前のものになりつつあります。今後も社員への負担も考えながら、効率的な環境負荷軽減に努めてまいります。

今年度は廃棄物排出量の削減が目標未達成。一般廃棄物排出量の削減は目標達成しましたが、受注工事の影響で産業廃棄物排出量が大幅に増加しました。当該数値は工事内容により大きく影響を受けるものではありますが、引き続き削減に向けた取り組みを推進してまいります。

今年度は特にガソリン使用料の削減に向けた車両管理を強化しました。昨年から検討していた古い車両の入れ替えを進め、燃費の悪い車両、故障リスクが高まる走行距離の多い車両から順に全体の2割程度の車両を入れ替えました。また、営業車はハイブリッド車へ転換し、安定した燃費性能の維持とCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組みました。

その他、事務所のエアコン更新や専門業者による清掃、営業所開設による営業エリアの移動距離短縮、紙購入額の社内掲示など新たな取り組みを実施し、環境負荷の軽減と業務効率化の両立を実現いたしました。

来年度に向け、水資源の有効活用推進の一環として雨水タンクの設置を検討、現場作業のDX化促進の加速、また、社員が環境への意識を高め、主体的に行動できる環境づくりを行っていきたいと思います。今後も環境に配慮した建設業の実現を目指し、地域社会に根ざした企業活動を着実に推進してまいります。

2025年9月8日  
代表取締役 永田 士朗

## 13.環境活動の取組内容

### 1

#### 消火器リサイクル 再資源化率9割以上

当社は消火器リサイクルの特定窓口指定されており、様々な事業所はもちろん一般の方からの処分も承っております。お預かりした消火器は、廃消火器リサイクルシステムによりリサイクルされ、再資源化率は9割以上です。

粉末消火薬剤は再生消火薬剤として精製し、新製品に再利用しています。

本体容器や部品は熔解処理を経て、新しい金属製品として生まれ変わります。

粉末消火薬剤



98%を再資源化

本体容器



100%を再資源化

蓋・投入管一式

92%を再資源化

### 2

#### 世界初！3Dプリンタで駅舎を建設

世界初となる大型建築用3Dプリンターによる駅舎建設を、JR西日本 初島駅で実現しました。

弊社にある3Dプリンターで7日間かけて特殊モルタルの部材を製造し、鉄筋とコンクリートを充填して強度を高めました。完成した4つのパーツをトラックで輸送し、現地ではクレーンで接合。終電から始発までのわずか約1時間15分で組み上げを完了しました。

これからも持続可能な社会を支える建築技術の実現に挑み続けます。



# 3

## 全消販認定優良事業所(九州・沖縄で9社)

当社は、消防用設備等の点検業務において「優良事業所」の認定を受けています。

「消防用設備等点検優良事業所」とは、全国消防機器販売業協会（全消販）の認定委員会が申請書を審査し、すべての基準を満たしていると認めた事業所に交付されるものです。2025年8月現在、九州・沖縄で認定されているのは9社であり、当社もそのひとつです。

今後もこの認定にふさわしい事業活動을続け、より一層の信頼と品質向上に努めてまいります。





# 4

## 創業55周年を迎えました

2025年3月、立尾電設株式会社は創業55周年という節目の年を迎えました。ここまで歩んでこられたのは、日頃より支えてくださるお客様やお取引先の皆様、そして共に力を尽くしてきた従業員の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

当社はこれまで、電気設備・給排水設備・消防設備などを通じて地域の安心と安全を支え、社会に貢献してまいりました。

この節目を機に、創業の精神を改めて胸に刻み、これからも地域に根ざした企業として、より一層の努力を重ねてまいります。

立尾電設株式会社  
代表取締役 永田 士朗



## 5 ロゴデザインをリニューアル！

社名の頭文字「T」をモチーフとしたシンボルを採用しました。左右対称のカットと右肩上がりのデザインには、柔軟な姿勢、挑戦、上昇の意味を込めています。

シンボル上部のグラデーションは新しい風や未来への成長、環境意識を表し、下部のブラックは専門性や堅牢さ、責任感を象徴しています。

地域社会への貢献と社内の多様な価値観を表現したロゴです。



**TATEO**  
立尾電設株式会社

## 6 作業服リニューアル！

現場で働く社員の要望を踏まえ、デザインや着心地、快適性や機能性の向上を目的とし、リニューアルをしました。今後も、作業服リニューアルに留まらず、引き続き社員の声に耳を傾け、より安全で快適な職場環境づくりを取り組んでまいります。

# 7

## 水俣ユニオン公式サポーター

当社は、地元・水俣を拠点に活躍する女子サッカーチーム「水俣ユニオン」の公式スポンサーとなりました。

水俣ユニオンは、地域の活性化やサッカーを通じた青少年の健全な育成、女子スポーツの発展に貢献することを目指して活動しています。

当社もスポンサーとして、地域とともに未来を担う若い世代を応援していきます。



↑弊社所属の男鹿選手

# 8

## インターンシップ受け入れ

地域密着型企业として地元の高校からのインターンシップを受け入れており、複数の部署を実際に見ていただき、弊社の仕事への理解を深めてもらっています。



# Thank you

2024年度環境経営レポートをご覧いただき、ありがとうございます。  
未来を担う世代に豊かな環境を引き継ぐため、皆さまと共に歩みを進めてまいります。  
今後も弊社の環境活動にご興味をお持ちいただけると幸いです。



**立尾電設株式会社**

〒867-0002 熊本県水俣市初野75-1

☎ 0966-63-4336

✉ お問合せはHPからも受付けています

